

文化振興基本計画策定のためのヒアリング調査結果について（まとめ）

1 ヒアリング及びアンケート実施期間

平成 27 年 1 0 月～1 2 月

2 対象者の属性

NO	対象者の属性	聞き取り手法	備 考
1	芦屋市 PTA 連絡協議会〔市民〕	アンケート	6 名の方より回答
2	海外交流経験者〔市民〕	〃	2 名の方より回答
3	商工会女性部〔メディア〕	〃	
4	事業者〔社労士〕	〃	
5	事業者〔小売業〕	〃	
6	文化関係者〔芦屋市民〕	ヒアリング	
7	演出家	〃	
8	事業者〔メディア〕	〃	市外事業者（営業エリアに芦屋市含む）
9	事業者〔メディア〕	〃	市外事業者（営業エリアに芦屋市含む）
10	文化財管理者	〃	

※日程等の都合によりヒアリングが叶わなかった方に対し、アンケート用紙による回答を依頼
 ※上記以外にも、10代・20代市民や事業者等へ依頼しましたが、有効な回答数及び内容を得られなかったため、下記分析等には反映していません。

3 意見の概要まとめ〔現状に対して〕

NO	項 目	意見概要
1	芦屋の文化	<ul style="list-style-type: none"> ◎衣食住にちなんだ生活文化（パンやスイーツなどの食文化） ◎オシャレなまち並みそのもの ◎芦屋の歴史（古典文学に登場する人物・地名、阪神間モダニズム等） ◎建物などで歴史的価値があるものなど ◎まつり
2	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ◎市民が知りたい情報が、市からは発信されていない。（市民が市の情報発信に対して期待していない。市民にとって有益な情報が載っていない、分かりにくい） ◎芦屋市の地域情報が非常に少ない。情報が集約された場所がない。（文化に関する情報が蓄積されていないのではないか。） ◎画一的なフォーマットで広報したとしても、多様な情報の中に埋もれ、分かりにくい。（市の HP、広報紙等）

4 意見の概要まとめ〔今後の展開として望むもの〕

NO	項 目	意見概要
1	子どもに触れてほしい文化	<ul style="list-style-type: none"> ◎日本の良さ、日本人の良さを感じることができる昔からの伝統や日本独自のもの（伝統芸能、文学、神社仏閣、文化財、昔からの遊び） ◎音楽や絵画等の芸術（学校において文化体験を充実してほしい）
2	情報発信の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◎生活文化情報（歴史・お店・文化イベント・クリエイター等を含める）を分かりやすくコンパクトかつ洗練された感じでまとめた情報の発信 ※文化で括れることをまとめる。 ◎文化に関する情報の特出し（冊子を作成する、専用の HP を作るなど） ◎市民が主体的にやっていることなどをピックアップし、発信する ◎民間の出版社や情報紙等を活用した情報発信

3	その他	<ul style="list-style-type: none"> ◎民間の活力をうまく利用する。 ◎お店等や市内の歴史・文化的施設・ポイントをうまくつないだ市内の周遊コースの展開 ◎文化施設同士の連携を図る。 ◎美術博物館などの文化施設等での音楽イベントなど、文化施設を活用した様々な取組 ◎ビエンナーレ等，文化イベントの実施 ◎総合公園や各種文化施設の活性化 ◎芦屋浜やロックガーデン等，自然と文化やお店等を融合した取組 ◎子どもの頃から文化に親しむこと（学校への文化情報の提供） ◎市内各所の由来等を立札等に説明を記載する等，地域の紹介
---	-----	---

4 ヒアリング・アンケート結果の傾向分析

- (1) 芦屋の文化は生活文化であると多くの方に認識されている。まちなみや衣食住など，ライフスタイルに溶け込んだ文化が芦屋の魅力であると捉えられている。
- (2) 芦屋の歴史や過去の背景等が芦屋市民としてのアイデンティティに影響を与えている。
- (3) お店等と歴史的な施設・ポイントや自然（芦屋浜・ロックガーデン等）をミックスした市内めぐりのコースや情報発信などが望まれている。
- (4) 文化に関する情報発信に課題があることについて多くの方から指摘をいただいている。
- (5) 子どもたちに対しては，育ちの過程で日本のルーツを感じられるような，日本古来の伝統や歴史・文化に触れてほしいとの意見が多い。また，家庭では文化芸術に触れあう機会も限られることから，学校等で体験できることを望む声もある。

5 ヒアリング・アンケート等の傾向分析から見えてくる市民の状況（仮説）

- (1) 市民はハイセンスなライフスタイルを送りたいと考えている。また，まちなみ何をするにしてもオシャレさや品の良さ等を望んでいる。
- (2) 地域に潜在するセンスの良いお店や，歴史的な施設・ポイント，文化施設等，日ごろから楽しんでおり。地域の魅力（文化イベント・まつり・お店・歴史・自然等）の情報を必要としている。
- (3) 自らも生活の中で，趣味等を通じて文化の実践者として活動している。
- (4) 子どもたちに対しては，日本人としての心の豊かさを学んでほしいと考えている。

6 市民アンケートの方向性・構成

(1) 方向性

まちなみ魅力・ライフスタイルを把握し，今後のまちなみ魅力発信につなげる。

(2) アンケート内容の構成

- ① 生活の中でどの程度生活文化に関連するイベントや催し等に参加・体験しているか（場所も含め）
〔生活文化関連の取組に関する関心度・情報発信等の状況把握→まちなみ魅力向上につなげる〕
- ② 市民の中で主体的に文化活動している方の状況
〔潜在的な活動者の状況把握→市民の文化度の高さを調査するとともに，文化の取組に対して親和度を調査する→生活に文化が根付いている〕
- ③ 子ども達へ向けた文化プログラムとして望まれていること
〔望まれている取組の把握→子育て施策への展開〕